

# 川柳 さいたま



## 確率とSINJU

### 願法みつる

三十年以内の大地震発生確率が発表された。しかも地域・地点で震度に差があるという。だが「大地震」であることには違いがなく、生けるものは被災する。

大体、「三十年以内」という確率論が何とも実感を伴わない。明日なのか十年後なのか三十年後なのか。その時点で自分は何処にいて何歳で、家族や社会はどのような状況なのか、具体的には想像し難い。だから当たりと外れとかのイメージが湧いてしまう。

一方、軽度の脳梗塞経験者に医師から「五年以内に三十割の確率で、確実に重大な脳疾患が発生します」と宣言された場合はどうだろう。個人的健康上の問題だから、地震の確率よりは実感が湧くだろうか。

だが確実などと脅されても、五年経って三十割だったら七十割は無事なのかな。まして今年や来年なら当たることもあるまい……と天の邪鬼は考えたくなる。しかし確率は非情でもある。大地震や脳疾患の発生の可能性は、等しく明日以降にあり、日々当たる確率は持ち越されるのだ。人間的な感情の埒外である。

外れの多い川柳競吟も所詮は同じ確率論なのだが、そこは人間関係の場である。故に人を惹き付ける温もりがあるのかも知れない。仲良き事は幸せである。

## 三月号 目次

わたしの好きな句 原名 幸雄	表紙	2
巻頭言 確率ということ	願法みつる	1
彩玉集——同人吟		5
古丘の世界	文・今村 寿子	6
雑詠	願法みつる選	6
映像川柳	石田 正則	15
七七句	松田重信選	18
たかが演歌されど演歌	つづらふみ	20
私の雛まつり 雛の思い出	大塚やまぶき	21
人形師の娘なのに	齋木 幸子	22
交替鑑賞 思い掛けない風景を尋ねて	篠崎 智子	24
初歩添削講座「新しい」雑詠	加藤孤太郎	28
ふるさと紀行 ふるさとほ心の中に	金子 育司	29
句集紹介		30
題詠 「合 図」 安西まさる 選		32
「祈 る」 今村 寿子 選		37
「うろろう」 岡田 秀夫 選		38
さいたま二月句会		4
第五十回 さいたま川柳大会案内		3
インフォメーション		3
編集さろん		3
句会案内		3
表紙(題字・清水 美江 写真・千葉 古丘)	表紙	4

平成26年

3 月号 (No.652)

日川協加盟